

|           |       |            |      |
|-----------|-------|------------|------|
| 福祉心理学特別研究 | 担当教員  | 単位数        | 配当学年 |
|           | 武村 尊生 | 6単位        | 2年   |
|           |       | 履修方法(授業形態) |      |
|           |       | SR         |      |

### ■事前に受講してほしい講義等

心理学的な理論と支援（臨床心理学）・心理学的な支援と応用演習（臨床心理学）

### ■授業のテーマ

福祉心理学研究の基礎と実践

### ■授業の目的

福祉心理学のうち、特に臨床心理学の分野における課題を見つけ出し、研究目的に合った手法を活用して研究を行い、論文を作成する。

### ■授業の到達目標

1. 福祉心理学に関しての研究デザインを作ることができる。
2. 研究の目的により適切な統計的手法を選択することができる。
3. 調査を行い、結果の分析を行い、適切な考察ができる。
4. 研究から得られた知見を、心理学的支援の場面に応用することができる。

### ■授業の概要

福祉心理学の論文の特徴を理解できるようになることを目標とする。論文の構成、変数の取り扱い方、統計的分析手法が適切に選択できるように学修を進める。調査のための実施計画を立案し、実際に調査を行い結果の分析と考察を行う。

論文の完成がゴールではない。これら研究から得られた知見を、心理学的支援の場面で応用し、社会に貢献することが重要である。

### ■授業の方法

個別指導

### ■授業時間外学修（予習・復習等）

心理学的研究法の特徴及び統計法については、テキストや参考文献をしっかりと読み、理解すること。

文献から情報収集をするために、少なくとも30編以上の文献を読むことが要求される。

研究、執筆は主体的に行い、自分の研究による論文を完成させること。

### ■評価の方法・基準（評価割合）

本研究への取り組み（20%）、3回のレジュメ（20%）、論文内容（40%）、最終プレゼンテーション（20%）

### ■履修上の注意事項

3回以上の面接指導と2回以上の通信指導を受けること。3回のレジュメ（構想レジュメ・第1回中間レジュメ・第2回中間レジュメ）提出が必須。

## ■論文作成のポイント（テーマと内容等）

|    | ポイント                                                    |
|----|---------------------------------------------------------|
| 1  | テーマ：修士論文テーマの設定<br>内容：自分の関心のあるテーマを設定する。                  |
| 2  | テーマ：文献検索（1）<br>内容：テーマに関する先行研究の論文を入手し、研究する。              |
| 3  | テーマ：文献検索（2）<br>内容：テーマに関する先行研究の論文を入手し、研究する。              |
| 4  | テーマ：文献の整理（文献カードの作成）<br>内容：研究を行った文献について、カードを作成する。        |
| 5  | テーマ：研究の目的<br>内容：研究を通じて何を明らかにしたいのか、研究の目的を定める。            |
| 6  | テーマ：仮説の設定<br>内容：独立変数と従属変数を明確にして、検証可能な仮説を立てる。            |
| 7  | テーマ：仮説の修正<br>内容：仮説の是非を検討し、必要に応じて修正する。                   |
| 8  | テーマ：予備調査（1）<br>内容：予備調査の計画を具体的に立てる。                      |
| 9  | テーマ：予備調査（2）<br>内容：予備調査の計画を具体的に立てる。                      |
| 10 | テーマ：予備調査の実施<br>内容：予備調査を実施する。                            |
| 11 | テーマ：予備調査の総括<br>内容：予備調査の結果を分析し、研究計画を一度振り返る。              |
| 12 | テーマ：本調査の準備（1）<br>内容：本調査で使用する心理尺度などの準備を行う。               |
| 13 | テーマ：本調査の準備（2）<br>内容：本調査で使用する心理尺度などの準備を行う。               |
| 14 | テーマ：本調査（仮説）<br>内容：予備調査の結果を踏まえ、本調査の仮説を検討する。必要に応じて見直しも行う。 |
| 15 | テーマ：本調査（調査の実施①）<br>内容：本調査を実施する。                         |
| 16 | テーマ：本調査（調査の実施②）<br>内容：本調査を実施する。                         |
| 17 | テーマ：本調査（データ入力）<br>内容：SPSSを使用して、本調査で得られたデータの入力を行う。       |
| 18 | テーマ：本調査（分析）<br>内容：本調査で得られたデータの統計解析を行う。                  |
| 19 | テーマ：本調査（結果の整理）<br>内容：分析の結果を整理する。                        |
| 20 | テーマ：本調査（仮説の検証）<br>内容：結果をもとに、仮説が妥当かどうかを検討する。             |
| 21 | テーマ：論文執筆（文献レビュー）<br>内容：背景となった先行研究のレビューを行う。              |
| 22 | テーマ：修士論文の執筆（目的）<br>内容：研究の目的と仮説を書く。                      |
| 23 | テーマ：修士論文の執筆（仮説）<br>内容：研究の仮説についてまとめる。                    |

|    | ポイント                                                                  |
|----|-----------------------------------------------------------------------|
| 24 | テーマ：修士論文の執筆（方法①）<br>内容：研究の方法についてまとめる。                                 |
| 25 | テーマ：修士論文の執筆（方法②）<br>内容：先行研究と尺度の関係についてまとめる。                            |
| 26 | テーマ：修士論文の執筆（結果）<br>内容：研究結果についてのまとめを執筆する。                              |
| 27 | テーマ：修士論文の執筆（図表の作成）<br>内容：客観的でわかりやすい図表を作成する。                           |
| 28 | テーマ：修士論文の執筆（考察）<br>内容：修士論文の考察部分をまとめる。                                 |
| 29 | テーマ：修士論文の執筆（まとめ）<br>内容：図表、引用文献、要約等をまとめ、修士論文を完成させる。                    |
| 30 | テーマ：プレゼンテーションの準備<br>内容：論旨について自分の言葉で正確に説明することができるよう、最終プレゼンテーションの準備を行う。 |

#### ■教科書・テキスト

それぞれの研究テーマにより、適宜紹介する。